

### 平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	木障をなくして美しい里山をつくる杣人の事業
事業主体 (連絡先)	杣人の会 諏訪郡原村中新田15829番地 小林方
事業区分	(5) 環境保全、景観形成に関する事業 (4) 安心・安全な地域づくりに関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,986,519円 (うち支援金: 1,441,000円)

#### 事業内容

原村は「日本でもっとも美しい村」連合に加入し、美しい村づくりを進めている。杣人の会はこれに地域住民と協働して、木障を取り除く伐採、間伐を行い、快適で安全な生活環境、美しい里山景観の創出を進めている。昨年度は県元気づくり支援金を受け、機材の充実を図ることができたが、今年度は活動の拠点の整備も進み、事業の幅を一層広げることができた。

具体的な活動として、昨年度に引き続き木障をなくす活動、地元住民との交流事業に加え、今年度は新たに  
①杣人育成事業として薪づくり、薪ラックづくり講習会  
②活動基地づくりを多くの会員も巻き込んで実施を行い、移住者と地域住民の連携交流をめざしている。



【

#### 【目標・ねらい】

- ①活動の通年化
- ②会員数の倍増
- ③財政の安定化
- ④広報活動の充実化

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

事業進捗率：今年度の間伐・伐採は昨年に対し件数や投入工数でそれぞれ20%増、投入工数：30%増となり、作業規模も大型化している。

この一因としてホームページの充実や会のフライヤーの頒布により新規会員が増加し、組織体制の強化が図られたこと、会活動が地域住民に周知されたことがあげられる。

また、薪の頒布の順調で自主財源全体を含む収入は計画比46%増となり、借入金の返済も計画どおり実施できていて会運営の自立化を見通せる段階になった。

#### ※自己評価【A】

【理由】地道な活動の積み上げと広報活動の成果により、会員数の倍増を達成した。これにより事業進捗率は昨年比で増大、作業規模も大型化した。財政も安定し、自立化を見通せるまでになった。

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

会の拠点に活動基地を会員自らの手で建設できたので、杣人の会が地域の交流拠点としての機能を有することが出来た。そのため、新旧住民が連携・交流できるよう場として引き続き里山の保全、景観創出に興味のある方々を活動に引き込むことを目的とした様々のイベントを実施していく。また、今後も新会員を増やし、会の活動の幅をさらに広げていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある